

2019

同友しずおか12

VOL.493



私の逸品

(株)池田製作所

門型マシニングセンターで
大型製品への対応と生産性向上



静岡県中小企業家同友会



門型マシニングセンターで 大型製品への対応と生産性向上

(株)池田製作所 (榛南支部)
専務取締役 池田 直之氏



池田 直之氏

経営者の学びを同友会に求めて
 (株)池田製作所は1985年創業、吉田町で機械加工や各種自動車・省力化装置等の設計・部品製造加工・組立などを手がける会社です。専務取締役の池田直之氏は、小さいころから経営者である父親の背中を見ており、いつかは自分も継ぐという気持ちを持っていました。学校卒業後すぐには入社せず、一度取引先の会社に入社することで修業を積み重ねて、平成20年に今の(株)池田製作所に入社しました。入社してすぐに、以前勤めていた会社の業務や雰囲気との大きなギャップを感じ、いつか

承継するのであればこのままの環境ではいけないという思いが強くなったそうです。リーマンショックの影響もあり経営に対する勉強が早急の課題と想っていた頃、地域の仲間から同友会の紹介があり飛び込むように入会しました。入会後は、多くの経営者と接することで経営に対する考えを学ぶだけでなく、自分と似た立場の方と同じ悩みを相談して互いに切磋琢磨する時間を共有しました。同友会で学んだ自分の思いが社内に浸透するまで時間はかかりましたが、少しずつ社員の意識・モチベーションも上がり、今の時代に求められる商品やサービスにつながっています。中でも会社訪問をする・される機会を設けることで、他社の技術や働く姿勢を学ぶと共に、他者に見られても誇れる行動が当たり前の社風



大型機械の前で社員集合

変化しました。

製造から一貫製作へ

10年ほど前に、以前より製品製作などの依頼をいただいていた取引先から企業提携の話があり、合わせて2社をグループ化しました。取引先としては事業承継などの観点からグループ化を希望しており、(株)池田製作所としても製品の設計から設置までの一貫製作を担うことができると考え、決意したそうです。経営体制が変わることでグループ会社内から反発があったり、目が行き届きにくくなるなど、まだまだ解決しなければならぬ問題はありますが、自社の強みをより強固にするためにも同じ目標を目指して日々邁進していると話してくれました。

全国展開を視野に

同社の強みは細かな部品から大きな機械まで、また設計から設置まで一貫製作できる体制にあります。細かな部品は海外工場での安価な製品の輸入も多くあります。しかしながら、県内でも大型加工機4台を稼働している会社は多くありません。「この大型加工機で作られる製品はコスト面・技術面ともに優れており、海外にはない強みになっている」と話す池田氏、「これか



大型加工機

ら県内だけでなく日本全国に展開していきたい」と今後の目標を力強く語ってくれました。

取材：記事：萩智理氏

(株)ラプト・榛南支部

取材：河内崇文氏

(株)スマートブレイン・榛南支部

取材：遠藤在氏 (Sign・榛南支部)

(株)池田製作所

〒421-0304 榛原郡吉田町神戸22-1
TEL：0548-32-5906
URL：http://www.ikeda-mfg.co.jp/

創立 1985年 設立 1986年
社員数 28名
入会年月 2013年1月
事業内容 大物加工、省力化機械、
設計・組立、精密機械部品、
治工具設計製作

会員訪問記

「葬儀の施行」から
「シニアライフのトータルサポート」へ

(有)みずぐち
取締役 水口はるひ氏 (沼津支部)



左より岩田豊氏 (専務取締役) 水口栄信氏 (代表取締役) 水口はるひ氏 (取締役)

務を拡大し、昭和44年6月に(有)水口葬具店として会社を設立しました。その後、(有)みずぐちに改名し、平成7年から平成21年までの期間に、3つのセレモニーホールをオープンし現在に至っています。

同友会入会へのきっかけは、取引先の方のお誘いで「我が経営を語る」例会報告を聴いて感銘を受けたことだと語る水口氏。「経営者の方々の話を聞き関わっていくうちに、改めて会社の良い点・悪い点が見え、より一層頑張ろうと奮い立たせてもらった」と熱く語ってくれました。

同友会に入会して経営理念を作成
創業者である水口信夫氏(父・前代表取締役)が、昭和5年に大工仕事の傍ら葬祭具の販売を行ったのが始まりで、昭和33年、葬儀全般を請け負う葬儀社としての業

入会後は、経営理念を作成し、その後初めて社内経営計画を発表したそうです。



セレモニー大仁ホール (伊豆の国市)



ミック函南ホール (函南町)



ミックセレモニー伊豆ホール (伊豆市)

- 経営理念
1. 私達は葬送に関する歴史や文化の継承者になります
 2. 私達は葬送儀礼の場だけでなく、お客様のシニアライフをトータルでサポートします
 3. 私達はみずぐちに関わる全ての人たちと共に成長し、お客様に選ばれる企業となる事を目指します

経営計画で掲げた5年後の目標は「田方郡下で家族葬のトップブランドになる」こと。「家族葬のミック」として名前は知れ渡りつつありましたが、更なる顧客開拓と確実な施行に繋げる方法として「事前相談×生前契約×施行」を最重要課題と位置づけ、社員の業績評価システムを構築したとのことでした。

葬儀だけでなく、シニアの様々な相談事に応える「ミックおひとり様倶楽部」

現在は夫婦2人で暮らす人や单身者も増え、葬儀の相談だけでなく、様々な心配事や、亡くなった後の各種手続きについての相談に乗ることが増えてきました。このようなシニアの方々の悩みに応え、健やかで愉しみに満ちたシニアライフを構築するために、同社では「ミックおひとり様倶楽部」を立ち上げました。様々なセミナーや勉強会・座談会を通じて会員の皆様の「終活」のお手伝いをしています。水口氏は「ここ数年で私達の仕事は、単なる葬儀の施行からシニアライフのトータルサポートへと変化している」と話し、まさに経営理念の2番目に本腰を入れて取り組むべき時にきていると感じているそうです。

敷居の高かった「葬儀社への相

(有)みずぐち
〒410-2412
伊豆市瓜生野125-2
TEL: 0558-72-1151
URL <https://www.michall-web.com/>

設立 1969年6月
社員数 13名 (パート含む)
入会年月 2010年6月
事業内容 葬儀全般・仏壇仏具販売

談」が時代と共に変化してきています。「会社として、今後はお客様の信頼できる相談相手になり新たなステージに立ちたい」と水口氏。令和になった今年50周年を迎えた同社では、次期代表取締役も発表されました。勢いのある会社だと感じ、今後の成長がとても楽しみに思いました。

取材・記事：大場 豪文氏
(株)文豪社・沼津支部

第33回全県経営フォーラムin中遠

本質に迫れ！変革に挑め！

～人を生かす経営が企業の未来を拓く～

開催日：11月15日(金) 参加数：199名 会場：掛川グランドホテル



梶田義高実行委員長あいさつ



田中 信吾氏

11月15日(金)第32回全県経営フォーラムが掛川グランドホテルにて開催され、総勢199名が参加しました。全体会では冒頭、梶田義高実行委員長、井上齊代表理事より挨拶があり、ご臨席頂いた8名のご来賓の方には、全体会と懇親会にてご祝辞を賜りました。

記念講演では、田中信吾氏(日本ジャバラ(株)代表取締役・中協顧問・兵庫同友会最高顧問)にご登壇いただき、「経営者としての決意と実践」環境の激変が理念を磨く」をテーマにご講演いただきました。1981年に兵庫同友会に入会した田中氏は同友会活動の中で、常に自身に「問い」を投げかけ、強い意思をもちながら、学びを実践してきました。経営指針の社員への浸透について、同社では経営指針を毎年全社員が手書きで転写することで、一人ひとりの理解を深めています。「いくら経営者がよい会社にしたいと思っても、最前線の現場で働く社員に伝わらなければ会社は変わらない」と話す田中氏、重要なものはどうすれば社員に伝わるのかを全力で考えることであると語ります。「最初は自分の欲だったものが、周囲の環境が変化するにつれて、志へと変わり、より強固になっていく」、経営者の夢の実現には社員の協力が絶対条件です。そして協力してもらうためには、社員も幸せでなければなりません。「小さくてもプライドのある一流の会社」になるため、経営者としての覚悟を持ち社員と共に前に進む続ける田中氏の講演は、多くの参加者にとって「経営の本質とは」という「問い」に向き合う場となりました。

続いて、5つのテーマで分科会を開催。第1分科会は働き方改革に焦点を当て、伏見修氏(株富士山ドリムビレッジ)、梶川久美子氏(サツマ電機(株))、野川和三氏(株野川商店)、静岡労働局の恩田課長と同友会運動と企業経営は不離一体をテーマにパネルディスカッションを行いました。第2分科会は新事業創造をテーマに、山崎かおり氏(株山崎製作所)が報

告。経営理念を中心に「三代目板金屋」を立ち上げた経緯や事業展開を語りました。第3分科会は地域環境との共存をテーマに穂坂勝彦氏(富士宮清掃(有))が報告。社員が誇りを持てる企業づくりや地域における自社の役割を語りました。第4分科会は選ばれる企業づくりをテーマに松浦令和氏(株松浦スチロール工業所)が報告。社員との信頼関係や皆が輝ける企業づくりの実践を語りました。第5分科会は、経営指針に基づく企業変革をテーマに野村勝也氏(株野村商店)が報告。事業承継後、一番に理念の浸透に注力し、次世代に会社を継承するための企業づくりを語りました。

懇親会は参加者が交流を深め合い、最後に松葉秀介副代表理事より挨拶。学びを深めると共に、県西部地域で同友会運動推進の機運を高める機会となりました。

〈当日ご臨席頂いた来賓の皆様〉

- 大石 良治様 掛川市産業経済部長
- 杉山 俊博様 静岡県経済産業部 商工業局長
- 山崎 正晴様 財務省 東海財務局
- 谷 直樹様 静岡財務事務所長
- 石井 潔様 厚生労働省 静岡労働局長
- 市川 公様 島田掛川信用金庫 会長
- 山本 義彦様 静岡大学 名誉教授
- 小松 善雄様 静岡県中小企業家同友会顧問
- 企業環境研究センター 顧問

〈当日ご参加頂いた行政・関係機関〉

(団体名のみ紹介)

- 財務省 東海財務局 静岡財務事務所
- 厚生労働省 静岡労働局
- 静岡県 経済産業部
- 磐田市 産業部
- 三島市 信用金庫
- 島田掛川信用金庫
- 静岡県信用保証協会
- 富士宮市 議会議員
- 愛知・岐阜同友会 会員

第1分科会

同友会運動と企業経営は不離一体

パネリスト…

伏見 修氏

(株)富士山ドリームビルディング

梶川 久美子氏 (サツマ電機(株))

恩田 基弘氏

(静岡労働局労働基準部 監督課長)

コーディネーター…

野川 和三氏 (株)野川商店

第一分科会では、静岡労働局の恩田氏より働き方改革の背景やねらいについて説明があった後、それに対して伏見氏、梶川氏より自社における働き方改革についての取り組みを発表しました。お二人の報告では、働き方改革を能動的に捉え、生産性向上や優秀な人材を確保するきっかけにしているとのことでした。今回の報告から、経営者として経営理念に基づき、人を活かしぶれない経営をすることが大切であると学びました。それが土台にあってこそその働き方改革です。一般的に働き方改革は休みを増やす、残業を少なくすることと捉えがちですが、それは表面的な見方、考え方です。今回のフォーラムのメインテーマにも『本質に迫れ!』とありますが、働き方改革の「本質」とは何なのか。参加者同士での議論はその後の懇親会まで尽きませんでした。

大畑 勝慶氏

(駿遠三菱自動車販売(株)・志太支部)



第2分科会

新事業で企業ブランディング

報告者…山崎かおり氏

(株)山崎製作所

あなたは何のために働いていますか?山崎氏の報告を聞いて、私はそんな質問をされたような気がしました。

山崎氏は先代から事業承継をするも、社員と同じ方向を向いて仕事が出来ていないのではないかと悩み、社員との関係を良くするために「円の組織作り」に取り組みました。トップダウンを廃止し、職人も事務員も役職関係なく皆で問題を共有し話し合い、考え、社長が決断する、そんな良好な関係を築いていきました。そして「自分たちの技術を一般の方から知ってもらいたい」という社員の声から、HPやブログを活用して職人の技術の素晴らしさを社外に宣伝したところ、職人にとってやりがいが生まりました。仕事に対し社員が情熱を持って取り組んだ結果行き着いたのは、「会社の理念は自分たちで創る」。自分たちで創った理念を実現するために社員1人1人が考え行動する。支えてくれる社員を守る為、社長も常に考え理念の実現に向けて社員と一緒に成長していくのだと学びました。常に会社のことを考え、誰のため、何のために働いているのかブレない理念を考えていこうと思えました。

秋山 英正氏

(浜松資材(株)・浜松支部)



第3分科会

地域企業としての経営戦略

報告者…穂坂勝彦氏

(富士宮清掃(有))

報告を聞いてまず、穂坂氏にも過去3つのトラウマがあるという話に驚きました。その一つに、穂坂氏が自社に入社した当時、社員が仕事をしている姿を知り合いや友人に見られたくないと帽子を深く被り、自分の顔を隠すように下を向いて仕事をしていたという話がありました。富士宮清掃(有)は富士宮市内の一般家庭から出るゴミの収集運搬業をしています。パッカー車に乗ってゴミの回収にまわる社員からの「自分の仕事している姿を見られたくない」という言葉が、今でも忘れられないトラウマになっているそうです。しかし、私はその忘れられない程のショックな出来事があったからこそ、「絶対に良い会社するぞ!」「社員がこの仕事に誇りを持って働けるようにしたい」と強く思い、積極的に同友会で学び、学んだ事を実践しているのだと感じました。

富士宮清掃(有)でいいから、がいい。へ。ただ仕事をそつなくこなすのではなく、富士宮清掃(有)がないと困ると市民が思える会社にするために、同友会での学びを実践している素晴らしい報告でした。

鈴木 克哉氏

(株)カーテンプラン季風庭・榛南支部)



第4分科会

選ばれる会社になるために!

報告者…松浦令和氏

(株)松浦スチロール工業所

今後、事業承継を行っていく自社としては「ワンマン経営からの脱却社員みんなが輝ける会社へ!」というサブタイトルに興味を惹かれました。ワンマン経営という懸念されることが多いですが、決して悪いことではないと思っています。しかしながら今後、労働時間や有休などを是正する働き方改革を実行していくには経営体質自体を見直す必要があります。そこに迷いが生じていた自分も松浦氏の報告を聞いて過去の経緯や悩みがシンクロナする部分が多々ありました。松浦氏の「大変でもやり続ける。言い続ける」という信念、そこから会社をどう変化させていったかという報告は大変参考になりました。社員に任せて責任感を持たせるには、徹底した人材育成とブレない経営指針が必要であると感じました。お客様からはもちろん、働いてくれる社員からも選ばれる会社を目指すべく日々奮闘していることと改めて感じたフォーラムでした。

三浦 大輔氏

(有)三浦水産・伊東支部)



第5分科会

経営指針に基づく企業変革

報告者…野村勝也氏

(株)野村商店

(株)野村商店は創立100周年を直前に控えた、伊豆発展の礎となった会社です。現在は建築資材販売部門と生コン製造部門に分社し、県外までの営業力と技術力を発信し続けています。4年前、野村勝也氏の3代目社長就任は多額の負債を負うことでもありました。絶望的な決算を目の前に「すべて背負うのだから自分の好きなようにやろう!」と開き直りの決断から始まった改革。「すべてのものに心を込める」この一念で、次なる世代へバトンを渡すために、様々なことに取り組みしました。社員面談、お祝いを社長自ら社員宅に届ける、若手の会、NOMU女部の創設、幹部社員との学び合い、OB・OG交流会など、これらの新たな取り組みを通して、社員がやりがいを持って楽しく働ける社風を築きあげてきました。そして今回のテーマにある「経営指針に基づく企業変革」の核は経営指針を社員全員が書き写すことでした。「先送りせず、現実を受け止め危機意識をもって地道にコツコツと」最後の言葉が心に残る報告でした。

梅屋 直史氏

(株)ポリマテック・富士支部)



東海財務局静岡財務事務所との意見交換会 事業性評価に基づく融資の取組み

11月29日(金) 参加21名

本年度で4回目の開催となった東海財務局静岡財務事務所との意見交換会に、山崎正晴氏(静岡財務事務所長)、各課長の皆様はじめ、当会員で地域金融機関3信用金庫の皆様と井上代表理事ら県理事と事務局の総勢21名が出席しました。

井上代表理事、山崎所長の挨拶の後、水谷理財課長より、ここ5年ほどの金融行政の流れと今後の方針の説明を頂きました。

続いて沼津、三島、島田掛川信用金庫より、意見交換会のメインテーマである「事業性評価に基づく融資」の取組み状況をそれぞれお話し頂きました。いづれも、地域経済を支える中小企業・小規模企業が、企業理念・ビジョン・強み・経営計画を明らかにし、金融機関と対話をしていくことで、その事業性が評価され、担保・保証に依存しない融資(事業性評価に基づく融資)が広がっていくことを参加者と共有しました。その後、

れた実際の事業性評価シートを配り、産業廃棄物中間処理、肥料製造としての現状分析、今後のビジョンを紹介しました。引き続きの意見交換では、事業性評価の企業・金融機関双方の浸透度、金融検査マニュアルの今後、地域金融機関における金融仲介機能のベンチマークに基づく評価の情報発信や伴走型支援のコーディネート機能の強化など様々な意見が挙がりました。同友会が提唱する企業づくりの大きな柱「経営指針の成文化と実践」。経営者の熱意を指針書に落としこみ、金融機関との対話に役立てていきたいと思います。桑崎副代表理事より参加感想を頂きましたので紹介します。



山崎正晴静岡財務事務所長

その後、
策威頼副代表理事(株アサギリ)より、
同社で実行さ



当日ご参加いただいた関係機関の皆様
(順不同・敬称略)

氏名	所属
山崎 正晴	静岡財務事務所長
石川 哲才	静岡財務事務所総務課長
川上 正人	静岡財務事務所財務課長
水谷 有里	静岡財務事務所理財課長
三輪 浩史	静岡財務事務所管財課長
青島 賢	静岡財務事務所総務課企画係長
石塚 賢	沼津信用金庫 理事
高嶋 正芳	三島信用金庫 常務理事
内山 昭彦	三島信用金庫 融資部事業再生グループ長
三浦 忠司	島田掛川信用金庫 常勤理事地方創生室長



参加者感想

通算4回目となる静岡財務事務所との意見交換会に参加しました。正直なところ、事業性評価による融資はまだまだ浸透していないのが私の実感でした。しかし、各信用金庫で多少の違いはありつつも確実に浸透しはじめていることが分かりました。信用金庫の方の「以前はただの支援だったものが、伴走型支援に変わってきている」との言葉からは、企業と金融機関が互いに歩み寄ることで、より具体的な連携となり地域を豊かにする活力になると感じました。また、事業性評価シートの作成に経営指針の有無も大きなポイントとなることも説明され、経営指針書の重要性を再認識しました。策威頼副代表理事が実際に行った事業性評価による融資の事例報告では、事業性評価シートの緻密さに驚きましたが、なにより自社を深く理解することで金融機関との対話に繋がっていました。今回の意見交換を通じて経営指針書の重要性を改めて感じ、経営指針の成文化のツールの活用を推進と金融機関とのより深い連携を模索していこうと思います。

桑崎雅人氏

(有島村歯車製作所・沼津支部)

「ストレス社会と睡眠障害」

講師 静岡大学人文社会科学部 教授 幸田るみ子氏

11月2日(土)

職場はストレスの原因でいっぱい、心配事で眠れぬ夜を経験した会員も多いはず。我々はそのように安眠を手に入れればよいのでしょうか。また、社員のメンタルヘルスも心配です。

幸田教授によれば、過労による精神障害の労災申請件数は増加の一途をたどっています。極端な長時間労働や上司による嫌がらせなどは労災認定の基準に含まれ、また政府の重点施策では自殺の原因にも挙げられています。ここには十分な注意が必要です。

さらに教授はストレスを引き起こすメカニズムを解説。ざっくり言うと、ストレス（ストレスの原因）が交感神経を刺激することで身体が活動が活発になり、それが続くと自律神経のバランスが

崩れてストレスになる、ということでした。こうしたストレスや、痛み、かゆみ、頻尿などの身体的原因などが不眠を引き起こすこと。身体的原因の治療や、睡眠薬での対処のほかに、交感神経の活動を抑え、ストレスに対処することも不眠症対策には有効なようです。ここで教授は「マインドフルネス」という概念を解説。これは「今、この瞬間」を大切に生きる一方で、価値判断せずに、今の瞬間に集中することで、ストレスから解放されることでした。頭からつま先までの幅をイメージしていく「ボディースキャン」を体験しましたが、私の経験の中では「座禅」に近いものでした。

グループ討論では自分の睡眠時間や連続性を一週間さかのぼってグラフ化し、日頃の悪習を再認識させられるとともに、安眠を得られる日は遠そうだな、と思いました。

鈴木弘之氏
(税理士法人あい会計・中遠支部)



幸田 るみ子氏

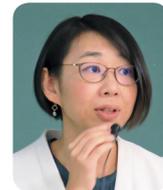
静岡大学連携講座

第5講

「情熱を大切に、認め合うチームデザイン」

講師：津賀 由布子氏 (有)サンディオス (沼津支部)

11月6日(水)



津賀 由布子氏

同友会に入会して、経営指針をつくる過程で社長を継ぐことを決意し事業承継。自身の情熱を傾けられること、好きなことを仕事にしようという津賀氏の想いは会社の新たなビジョンとなり、社員が楽しく誇りをもって働ける職場づくりに取り組みました。コミュニケーションについて「色々な価値観の人と対話し、考え方が違う人を批判するのではなく、多様性を認め合うことが大切」とであると学生に伝えました。

第6講

「建設業界での学び」

講師：石澤 浩一氏 (株)BuildEast (沼津支部) 11月13日(水)



石澤 浩一氏

地元北海道北見市で建設業に従事した石澤氏。縁があり1989年、20歳の年に静岡県沼津市にて内装業として独立。その後、2002年の結婚と住宅の購入をきっかけに、受注したものを施工するだけでなく、自ら生み出すことに魅力を感じ、自社でデザインも手がけるようになります。経営者として譲れない心を持ちつつも「学ぶことは受け入れること」と石澤氏は話します。最後に学生に向けて「真剣に人と向き合うことで、それが自分にも跳ね返ってくる」とメッセージを送りました。

第7講

「駅弁学講座」

講師：守谷 匡司氏 (株)祇園 (伊東支部) 11月20日(水)



守谷 匡司氏

多くの観光客が訪れる伊東で駅弁を製造販売している(株)祇園。地域のお客様に愛されるお弁当屋であり続けるため、おいしさにこだわり、どんな時でもお客様と向き合うことを大切にしています。老舗であることに慢心せず、日々改善や挑戦を重ねながら、強みであるいなり寿司はじめ既存の商品を磨いている守谷氏、将来の夢は「伊豆といえば祇園のいなり」と言ってもらいたいと語りました。

第8講

「正しい人生や生き方なんてあるのか？」

講師：伊藤 崇洋氏 (株)オブジイ (榛南支部) 11月27日(水)



伊藤 崇洋氏

大学卒業後、大手企業に就職した伊藤氏は、お客様からの依頼に応える中で楽しさを感じ独立を決意。自社では業務のほかにも、社外イベント等を開きコミュニケーションを大切にしています。これから就職を考える多くの学生に対し、職場で働く中にも人と人との繋がりが重要であり、連携して社会的役割を果たしていることを伝え、「自分を磨き主体性を持って行動できるようになってほしい」と学生にエールを送りました。

2020年 12月・1月

DOYU CALENDAR

12月16日(月)～2020年1月15日(水)

2019年 12月 16日(月)	県組織増強委員会(東・中・西部合同) (19:00 同友会事務局)
18日(水)	伊東例会(19:00 ひぐらし会館) 食と農研究会 忘年会(19:00 しずパル)
19日(木)	富士例会(19:00 富士ロゼシアター) 榛南 望年会(18:30 うおとも) 浜松例会 (19:00 緑の谷のごちそうテラス CoCoChi)
20日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」(19:00 同友会事務局) 沼津例会(18:45 プラサヴェルデ)
21日(土)	共学ゼミ(14:00 かまくら文庫)
25日(水)	県理事会(17:00 同友会事務局)
27日(金)	県政策委員会(景況調査記者発表) (10:00 葵区役所市政記者室)

2020年 1月 8日(水)	正副代表理事会(17:00 同友会事務局)
9日(木)	御殿場市経済交流交歓会(1月例会振替) (17:00 御殿場高原ホテル)
10日(金)	県組織増強委員会(中・西部) (19:00 同友会事務局) 富士宮例会(19:00 志ほ川バイパス店)
11日(土)	同友会大学 (14:00 同友会事務局) 榛南経済人質詞交歓会 (17:00 うおとも)
14日(火)	三島支部30周年記念事業 (15:00 みしまプラザホテル) 静岡例会 (19:00 ペガサート)



《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》

同友会3つの目的

- 1 よい会社をつくろう**
 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。
- 2 よい経営者になろう**
 同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
- 3 よい経営環境をつくろう**
 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらった
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、同友会にありました。

会員登録中

経営者同士だからこそ話せる悩み、解決へのヒント、将来への展望。体験してみませんか？

TEL/054-253-6130

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1083名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
せき 関 ゆうこ 裕子	トータルケアサロン ぼうむ御殿場 エステティックサロン(美顔、ネイル、脱毛)	御殿場	石山 美歌
ます 増田 かずよし 和芳	(同) 富士みらいクリエイション 人材育成コンサルティング、地域教育・生活支援	富士	西村 知浩
こばやし 小林 のりひさ 宣久	(有)シモノ工務店 建築業(木造住宅新築・リフォーム)	静岡	内田 一栄
やまもと 山本 なおひろ 直広	山本直広事務所 土地家屋調査士業、測量業(土地建物登記及び調査測量)	榛南	山本 正巳
おおすぎ 大杉 たくや 卓也	大杉卓也行政書士事務所 行政書士(離婚協議書、遺言書、遺産分割協議書、その他契約書作成、各種許認可取得)	浜松	江間 省豪
かもがわ 鴨川 み の る 稔	(株)鴨川塗装 塗装業(建築一般塗装、空調機械設備塗装、耐薬品塗装、耐熱塗装、防水塗装、カラーシュミレーション、看板設計・製作、住宅塗装、プール塗装、煙突整備・塗装)	浜松	鈴木 真仁

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。